

## 令和3年度 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 議事概要

1. 日 時：令和3年5月28日（金）9時30分～10時10分

2. 場 所：Web 会議

### 3. 議 事

- (1) 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 規約改定について
- (2) 取組方針の見直し案について
- (3) 令和2年度の実施状況
- (4) 令和3年度の取組予定
- (5) その他

### 4. 議事結果

令和2年度に、対象期間とした概ね5年が経過したことから、平成28年～令和2年度の5年間の取組状況や水防災に係る近年の動向を踏まえて、今後5か年の取組方針【見直し案】を作成した。本会議では、令和2年度の主な取組内容と令和3年度の主な取組予定について説明した。

また、規約改正案及び取組方針の見直し案の変更内容を説明し、本会議で承認された。  
なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からweb 会議方式で開催した。

#### (1) 天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 規約改定について

天神川流域では、令和2年度に中津ダムで事前放流の方法等を記した『治水協定』を締結しており、これを踏まえ、天神川水系大規模氾濫時の減災対策協議会の委員に鳥取県企業局が追加された。また、幹事会の構成員について、鳥取県危機管理局の役職が変更となった。関係機関からは異議はなく、承認された。

#### (2) 取組方針の見直し案について

平成28～令和2年度の5年間の取組状況や水防災に係る近年の動向を確認し、関係機関への事前確認も踏まえ、今後5か年の取組方針【見直し案】を作成した。

取組方針のうち変更・追加となった11項目について説明し、関係機関からは異議はなく、承認された。

#### (3) 令和2年度の実施状況

令和2年度の主な実施状況として、事務局より以下の8項目について説明した。

- 1. 水害から高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組について
- 2. 簡易型河川監視カメラの整備

3. 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
4. 防災教育の実施
5. 合同訓練の実施
6. 河道掘削、樹木伐採による河川断面確保対策
7. 天神川水害タイムライン検討会の開催
8. まるごとまちごとハザードマップの実施

(4) 令和3年度の取組予定

今後5か年の取組方針【見直し案】を踏まえ、令和3年度に実施する以下の6つの主な取組予定について事務局より説明した。

1. 多機関連携型タイムラインの運用
2. まるごとまちごとハザードマップ実施
3. 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成の促進・避難訓練の実施
4. 広域的な避難の必要性の検討
5. マイ・タイムラインの作成支援
6. 浸透対策、パイピング対策、流下能力対策の実施

(5) その他

【委員からの意見】

■倉吉河川国道事務所長

令和3年の主な取組のハード対策については、倉吉市生田地区や米積地区における河川掘削、三朝町牧地区での堤防整備を進めていくことを説明したが、これについては、国土強靱化の補正予算15兆円が閣議決定されている。

しっかりと地域の必要性をまとめ、予算要求し、安全・安心のための整備に取り組んでいきたいと考えているため、自治体の皆さまにもご意見をあげていただきたい。

■倉吉市長

河道掘削や樹木伐採等の河川整備は非常に重要だと考えている。特に、天神川は急流河川であり、土砂が流出しやすい河川であると認識しているので、国土強靱化の5か年の予算で、是非、継続的に整備をしていただきたい。

我々もしっかりと要望をあげて、予算確保のための働きかけをしていきたいので、今後ともご尽力をお願いをしたい。

以上